



薩摩川内市総合防災訓練



薩摩川内市消防操法大会

編集：薩摩川内市消防局予防課／消防局ホームページ

薩摩川内市消防局

検索

水難事故ゼロで 楽しく過ごそう薩摩川内の夏

暑い日が続くこの時季、海や川へ出かけると子どもたちの笑顔があふれます。しかし…一歩間違うと、楽しいはずの水辺での遊びが取り返しのつかない事態に。「水難事故」。国内では年間約1,400件の水難事故が発生し、約800人の尊い命が失われています。悲しい事態を招かないために、次の点に注意し、楽しい夏を過ごしましょう。



水難事故防止のポイント

● 事故を未然に防ぐために

- ・遊泳禁止場所では絶対に泳がない
- ・天候の変化に注意する
- ・増水した川や海には近づかない
- ・子どもから目を離さない
- ・適度な休憩をとる
- ・離岸流^{※1}に注意する

※1

りがんりゅう
離岸流
なに？

波打ち際から沖合いに向かってできる強い引き潮のことで、いったん巻き込まれると一気に沖合いに流されてしまいます。離岸流は、幅 10m、長さは 300mにもなることがあります。万が一巻き込まれてしまったら、落ち着いて横方向に泳ぎ離岸流から抜け出しましょう。

救出方法

● 溺れている人を見つけたら

- ・大声で周りの人に知らせる
- ・119番通報し救助を要請する
- ・泳ぎに自信があってもあわてて飛び込まない
- ・浮き輪や棒などを使い、できるだけ陸地から救助する
- ・むやみに近づくと巻き込まれてしまうことがあるので、無理して助けに行かず、溺れている人から目を離さないようにする

心肺蘇生法

● 助けた人が心肺停止状態だったら

- ・近くの人と協力し119番通報とAEDを準備する
- ・呼吸を確認(10秒程度)し通常の呼吸状態でなければ胸骨圧迫(心臓マッサージ)を行う
- ・胸骨圧迫は胸の中心を1分間に100回のペースで実施する
- ・呼吸状態の判断ができないときは胸骨圧迫を実施してみる
- ・胸骨圧迫を実施して痛がるなどの反応があればやめる

心肺蘇生法を学びたいときは

消防局では毎月9日の午後7時から心肺蘇生法を学ぶための「普通救命講習会」を実施しております。受講を希望される方は
消防局警防課(☎22-0119)へお問い合わせください。

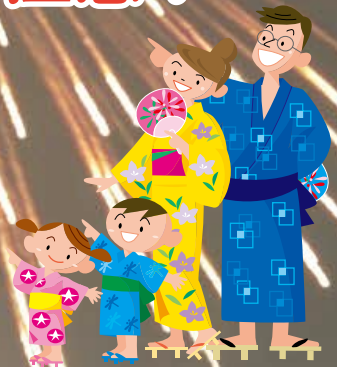


イベント会場での火気取り扱いに注意!



昨年8月、京都府福知山市の花火大会会場で、死者3人を含む59人が負傷する露店での火災事故が発生しました。

季節の催しを楽しめるものにするために、火や電気を使用する露店を出店される時は、危険性を十分認識し、事故を起こさないように注意しましょう!

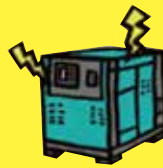


火気器具の使用は



- ・不燃性の台などの上で使用する(ダンボールなどの上に置かない)
- ・ガス管(ゴムホース)はひび割れなどの劣化がないものを使用する
- ・ガス管とコンロはホースバンドで確実に締め付ける
- ・火気器具の周りに燃えやすいものを置かない
- ・カセットコンロは全体を覆うような大きな鉄板などは使用しない

発電機の使用は



- ・火の気から離れた通気性のよい安全な場所に置く
- ・使用前に燃料は満タンにしておく
- ・燃料補給はエンジンを停止してから行う
- ・ガソリン携行缶からの給油は蓋を開ける前にエア調整ねじで内圧を抜いてから

燃料の使用は



- ・ガソリンは消防法令に適合したUNマーク付きの携行缶に保管する
- ・ガソリンの携行缶は日陰で火気器具の輻射熱を受けない場所に置く
- ・ガスボンベは火の気から離し、直射日光が当たらない場所に置き、転倒しないように鎖などで固定する

万が一に備え 消火器の準備を



もし火災が発生すると、瞬く間に燃え広がり取り返しのつかない事態に…
火気を取り扱う露店を出店する時は、必ず消火器を準備しましょう。

ホテル・旅館に対する

表示制度が始まります!

3階建て以上で30人以上を収容するホテル・旅館の関係者からの申請に基づき、消防機関が「火災に対する安全性」などを検査します。申請のあった建物が、消防法令および建築基準法令の基準に適合していると認められた場合は、消防機関が図のような「表示マーク」を交付します。

「表示マーク」は、利用者の皆さまへ火災に対する安全性が保たれていることを示すものとしてホテル・旅館のフロントなどに掲示されます。薩摩川内市では8月1日から表示マークの交付を開始しますが、他の市町村では、交付日が異なる場合があります。家族旅行や出張などで宿泊施設を利用される場合の安全上の参考としてください。



消防ミニ図鑑

おおがたそうふうき
「大型送風機」



耐火建築物における火災では、木造建物などと比べ、出火室から他の居室に延焼しにくい構造となっている反面、火災室内では煙や熱が充満しているため、消火活動や、救助活動に支障をきたします。

そこで、使用するのが大型送風機です。大型送風機を建物出入り口に設置し、建物内に強力で大容量の風を送ることで、煙や熱を迅速かつ効率的に排除することができ、その後の消防活動を安全に、効率よく実施することができます。

